

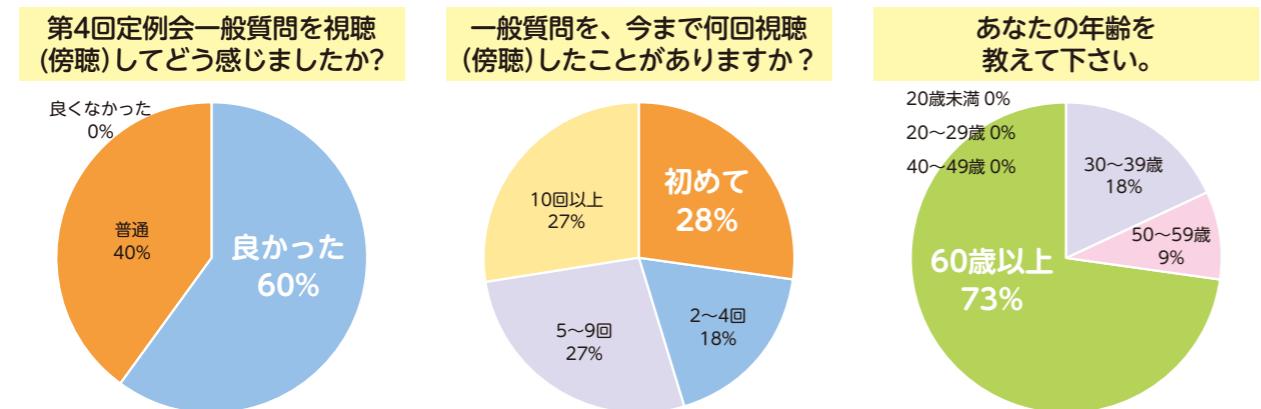
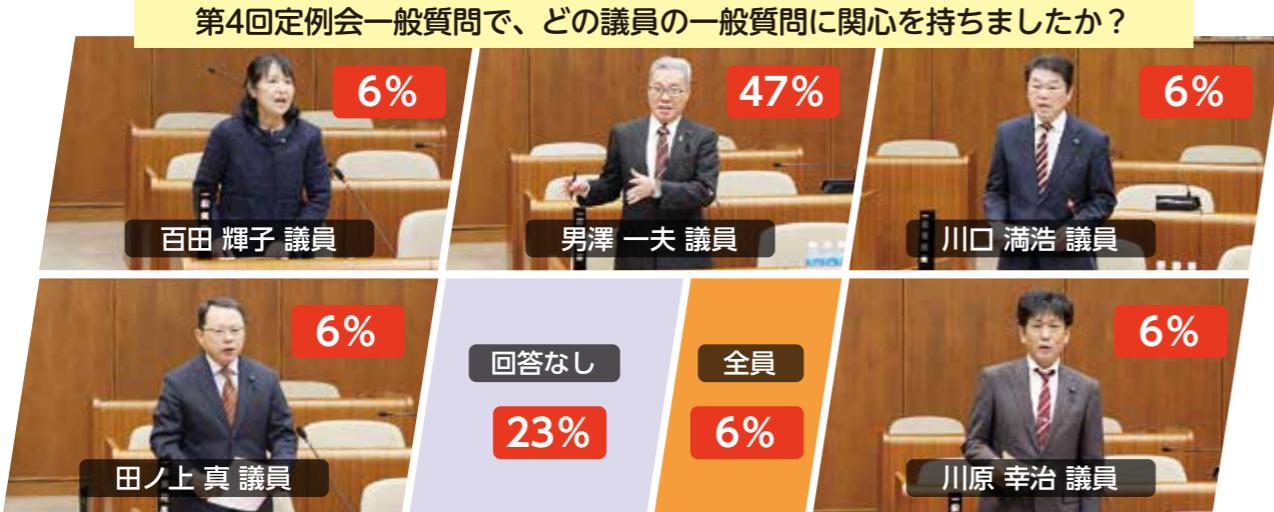


『議会のリアル』

—傍聴者(視聴者)の声—

ライブ配信視聴数 117名 録画配信視聴数 259回

※視聴数は、1時間ごとの視聴数を積み上げた数です。



ドローンの導入は、消防署にあるなら町でなくても良いと思う。また、須恵町の施設の現状を知れて良かった。空家と子どもたち居場所作りに何かできたらいいなと思いました。とても難しいことだと思いますが。



議員が前もって事前に調査をしていれば、議論が深まったんじゃないと思いました。



今回の一般質問は内容が濃かった。



もっと町民が関心ある質問をしてほしかった。



町内のがよく分かってよかったです。(今回は特に感じた)

松山議長



『皆さまの声、町に』

一般質問は、須恵町の行政全般にわたり、事務の執行状況および将来に対する方針などについて所信を質し、あるいは報告、説明を求め、または疑問を質することです。町民の負託を受けている議員には、皆さまの声に耳を傾け、その上で独自の調査を行い、一般質問につなげてもらいたいと思います。

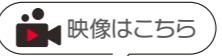
※お寄せいただいたご意見は、全議員がすべて読ませていただいている。

かわら ゆきはる 議員が問う

生活

空家の有効活用を

質問を終えて



地域の課題は地域で解決。空家対策がもっと活性化し、安全・安心に、誰もが住みたくなる須恵町であり続けることを期待します。



川原 全国に空家は900万戸あり、そのうち放置空家が400万戸と言われている。65歳以上の単身高齢者世帯も900万戸あり、75歳以上の後期高齢者の割合が6割以上とも言われている。須恵町の空家の数と、そのうち特定空家や管理不全空家は何軒あるのか。

地域振興課長 令和5年から6年の空家実態調査の結果、空家が239軒、そのうち特定空家に1軒認定している。川原 除却、予防、利活用と空家に対して3つのアプローチがあり大切だが、各行政区長や空家対策協議会との連携はとれているのか。

地域振興課長 定期的な協議会は行なっていない。区長会の後に話すことがあるだけで、特に年に何回と決めていない。

地域振興課長 福岡都市圏と言つこともあります、現在は、活用と言つうよりは、民間の売買に期待しているところである。

地域振興課長 空家を有効活用していく具体的な取り組みを検討しているのか。

地域振興課長 臨機応変に活用していく。

川原 住まいのエンディングノートなど、今後活用する考えはあるのか。

空家はあくまでも個人の財産であり勝手に扱うことができない。所有者から申し出があり、立地、条件が整えば有効活用をしていきたいと考えている。

※質問した議員自身の責任でまとめた原稿を、そのまま掲載しています。詳細は、映像配信をご覧ください。



住まいのエンディングノートの活用も有効だと考えます

地域振興課長**必要なものを臨機応変に活用する**